

．干潟藻場の拡大に関する作業の進捗状況

担当部署：環境省中部地方環境事務所・里海推進室・農林課・水産課・環境課

取り組み状況

(1) 干潟再生の取組拡大に向けた作業等

10月2日 和具地区で4か所目となる干潟再生を開始。

(2) 干潟再生の普及啓発活動

7月31日 志摩の海とまちづくりに関する調査「あなたと海と干潟」初期分析報告書作成（立命館アジア太平洋大学、北海道大学の調査への協力）

10月7日 名水サミット2016 in 志摩で、志摩市の干潟再生の取組を紹介するパネルや生物標本を展示。

18日 山口県で開催された周南市主催のシンポジウム「多様な主体の協働による大島干潟保全を目指して」に里海推進室からパネリストとして参加。

今後の進め方

(1) 干潟再生の拡大について

今後の干潟再生を事業として推進していく上で地目変更や相続手続きなどが必要となることが想定されるため、事業として推進していくための制度等について検討が必要。

(2) 干潟の保全措置の検討

保護区の設定、トラスト基金制度の創設による干潟の買い上げ活動等による保全措置の実施の可能性について検討する。

(3) 干潟再生の効果について啓発・情報発信

干潟再生の必要性について市民や関係者の理解を深めるために、伊勢志摩国立公園 70 周年記念事業などの機会を通して情報を発信するとともに、市民参加型の啓発イベント等を検討する。

和具干潟でのアサリ着底促進材の設置検討

今後の予定

11月20日 伊勢志摩国立公園指定70周年記念式典、全国エコツーリズム大会 in 伊勢志摩で干潟再生資料を展示。

3月11日 アオサノリの収穫体験（アクアヴィラ）

未定 アサリ定着状況調査（ネム ホテル&リゾート）